

令和7年度 第7回 落合第四小学校地域協働学校運営協議会 議事録

開催日時・場所

令和8年1月20日（火）15：30～16：15 落合第四小学校 会議室

出席者（敬称略）

二上代表、浅見委員、山下委員、白鳥委員
中里校長、渡邊副校長、梅澤主幹教諭、小田主幹教諭、教育支援課 明石
(司会：副校長)

配布資料

- A. 令和7年度 新宿区立学校 学校評価（内部評価）結果報告書
- B. 第8回落四小地域協働学校運営協議会開催のお知らせ

議事

1) 代表挨拶

皆様こんにちは。あけましておめでとうございます。寒くなりましたので、皆様、体調に気を付けて、今年もよろしくお願いします。

2) 校長挨拶

皆様こんにちは。改めまして、あけましておめでとうございます。先週は春のような陽気でしたが、今日は一転寒さが厳しくなりました。大寒とはこういうことか、と感じています。3学期が始まり、学校としてもインフルエンザ等、感染症対策に努めながらすすめているところです。インフルエンザは今週1名で、少し落ち着いた状態です。令和8年も体験や人との関わりを多く持たせた教育活動を考えています。地域の人材や環境を活用した取組を3学期も実施していきます。1年生は凧揚げ、2年生は東京富士大学の先生の演奏を聴かせていただく馬頭琴の学習、3年生の染の小道の見学等、地域の中にある人材や環境を生かして計画しています。6年生は卒業生をお招きしてキャリア教育、5年生は図工で平和のポスターを計画しています。今年もどうぞよろしくお願いします。

3) 学年の取り組みについて（1年）

生活科、幼稚園・保育園との取組を中心としたプレゼン

- ・生活科では、身体を使って知識を確かなものにする、人に伝える、表現することを大切にしている。
- ・1年生は何も知らない、何もできない、という前提ではなく、幼稚園や保育園で学んだことや経験から考えさせるようにしている。
- ・教師がすべて教えるのではなく、「どうしたらいいと思う？」「どうしたい？」と投げかけ、子供たちが自分で考え、解決できるように導く。
- ・協働して学ぶことで「学校っていいな」「地域っていいな」という思いをもって、2年につなげたい。

4) 学校評価（内部評価）について

- ・地域とのかかわりに関して、子供や保護者からも大きな手応えを感じている。地域の皆様が協力的に授業に参加して下さることが非常にありがたい。
- ・内容を確認の上、A4版の用紙に記入し、次回、副校長まで提出を。

5) 情報交換

- ・朝顔など、本当に一から教えているのだと感じた。入学までに様々な体験が少ないのかかもしれないと思った。パソコンに頼りすぎて自然との触れ合いが少ないところを、学校で体験させてもらえるのはよい。自分で手に取って、物事を工夫することが少なくなっているのかもしれないなと思った。
- ・1年生のプレゼンを見て、「どうやってやるの?」「どうする?」と問いかける教え方がすばらしいと思った。朝顔に棒を立てて絡ませるんだよ、と教えることは簡単だけれど、そうしないで考えさせているのがすばらしいと思った。
- ・学童もひろばも遊びがベースの場で、なるべく季節を意識した遊びを行っている。今はメンコを楽しくやっていて、ある程度できる大人がいるというところも強みになっている。大人がやっているのを見て、もっとやってみたいという気持ちになったり、大人と競ったりしている。
- ・おとめ山を登って来るときに飛ばされそうな風だったが、子供たちは元気に凧揚げをしていた。自分の時には生活科を経験しておらず、理科だった。先程のプレゼンで、2年生との縦の交流がよい学びになっていると思った。行事での異学年交流はあるけれども、各教科での交流は少ないので、よい取組だと思う。

6) 事務連絡

* 次回 第8回 落四小地域協働学校運営協議会は
令和8年2月26日（木）午前9時00分から 本校会議室にて開催予定
学校評価の提出

以上